

答 宗宮 孝生 町長

黒田橋につきましては、藤橋から池田への地域間路線として県道藤橋・池田線沿いにつくられておりますし、主要地方道、春日・揖斐川線沿いにも位置しております。最近、企業の進出もございまして、雇用も拡大され、本町における社会経済の発展には必要不可欠な橋であることは、議員御指摘のとおりでございます。

県道藤橋・池田線につきましては、現在は県の事業として地元関係者の理解をいただきながら、沿線における道路拡幅、あるいは歩道の設置が進められておる状況でございます。

また、主要地方道春日・揖斐川線につきましても、市場地内において拡幅工事が進められており、幹線道路の整備がなされている状況でございます。

黒田橋の架け替えにつきましては、平成15年に都市計画道路の決定が行われておりますが、これに沿いまして道路網整備計画を踏まえ、また周辺における国道、県道及び都市計画道路等、広域的なアクセス道路を視野に入れながら整備の促進が必要であると考えております。

近鉄揖斐駅周辺の農振の除外における網掛け、用途指定と、大型開発特に駐車場の整備、養護学校の誘致についてお尋ねいたしましたと思います。

近鉄揖斐駅周辺をはじめとして何ヶ所かが農振除外をされ、今後、大きく発展していくことと期待いたしております。特に近鉄駅周辺は、住宅化や商業地化、工業地化、公有地化などさまざまな開発が考えられますが、地域や青少年の育成にとつて、好ましくない施設などの入居を阻止するために、開発に関する網掛けといたしますか、用途指定を考えてみたらどうかと思っておりますが、このことについて町長にお尋ねをいたします。

また、先の県議会の中でも議題になりました西濃地区における養護学校が、今、非常に大変な状態であると聞いております。近鉄揖斐駅周辺に養護学校が誘致できないものかと思っております。このことについてもお尋ねいたしたいと思っております。

答 宗宮 孝生 町長

はじめに開発に関する網かけの御意見でございますが、本町におきましては、定住化対策として住宅建設の促進を目的に、平成17年初めに町全域の中で、農振農用地の地域除外を行いました。その中で、約百町歩ほど除外しまして、土地の利用計画の見直しをしたところでございます。また、これに基づきまして、民間

事業者からの住宅建設及び宅地開発につきましては、関係機関と十分協議を行いながら、現在進めているところでございます。

御質問のございました近鉄揖斐駅周辺は、宅地化、あるいは商業化、工業化、公有地化など、さまざまな開発が考えられます。このことについて揖斐3町都市計画区域は、現在、未線引きの地域でございます。したがって、用途については指定をしておりません。

今後におきましても、当町の自然環境と調和のとれた土地利用を推進するため、県における土地開発に関する調整基準、開発指導要領及び町土地開発に関する指導要領に基づきまして、関係機関と十分なる事前の協議を踏まえ、適切な指導と規制を行い、地域住民福祉の向上と、健康で文化的な生活環境の確保実現を図つてまいりたいと考えております。

近鉄揖斐駅周辺の整備につきましては、現在、10月に調査設計をコンサルに委託をしたところでございます。この調査設計をベースに、議会の皆さんや地域住民の皆さんの御意見を伺いしながら、早期に必要な施設の規模、位置等を検討してまいりたいと考えております。

次に、養護学校の誘致のお話がありました。平成17年度の大垣養護学校の児童・生徒数は356人と聞いております。特に知的障害養護学校として全国でも6番目に当たる大

きさの規模であります。現在のところ、極めて過密な状況とお聞きしております。

このことについては、県の教育委員会も大垣養護学校の過員状況を認識しており、新規養護学校の建設を視野に入れ、検討していると聞いております。私も保護者の方々の思いが成就することを願ひ、西濃北部地域に養護学校を誘致できるよう努力をしたいと考えております。

林 幹夫 議員

問 大規模集会施設の設置と観光常設館の設置について

昭和52年に建設されました中央公民館は、築後30年近く経過しました。今では音響や冷暖房に劣化が見られ、特に大ホールが手狭なことが難点となってきました。近年、住民の皆さんが公民館を利用して活動される機会が増えてきたことから、近隣の市や町の設備と比較され、その都度多くの人たちから、揖斐川町も施設整備をしてほしいとの声が聞かれております。また、このたびの町村合併の大業を乗り越えた住民の皆さんの気持ちから斟酌しますと、町村合併したことで何かが大きく目に見えて変わるだろうとの期待を強く持つておられます。

問 近鉄揖斐駅周辺の農振除外地における網掛けと大型開発について

と大型開発について